

# 林業福島

No. **684**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



**8**

2021



監修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 少年の夏



# 安定した木材・木製品の供給に務めます

福島県木材協同組合連合会  
会長 鈴木 裕 一

福島県木材協同組合連合会の事業運営につきましてはご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災及び東京電力福島原子力発電所事故から十年が経過しました。この間、木材の放射性物質対策として、国・県のご支援をいただき安全・安心な県産材の供給体制の整備や滞留パーク対策等に取り組み、いくつかの課題は解決されてまいりました。しかし、放射性物質の影響は長期間にわたることから、引き続き、木材の放射性物質対策を主要課題と位置づけ、数年前を見据えた取り組みを行って参りたいと考えております。

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大による木材需要の大幅な減少が十分な回復を見せない中、ウッドショックに見舞われております。ウッドショックは、その影響は複雑かつ多岐に渡っており、今後の見通しも不透明で有効な対応策も無い状態であります。組合員は外材の代替需要に応えるべく努力しておりますが、この状況を乗り切るまでには至っておりません。ウッドショックを少しでも和らげることができるよう、国・県・関係団体等と連携し、必要な対応策を検討していく考えであります。

今年度事業といたしましては、木材の需要拡大、安全な木材製品等流通体制構築、木質燃料の安定供給及び、安定的・効率的な木材流通体制構築等に取り組みこととしております。

特に、木材の需要拡大として、民間住宅用建築材の需要が減少する中で、公共施設や非住宅・外構分野への県産材利用を国助成事業の活用と設計・建築士等との連携による取り組みにより進めて参りたいと考えております。また、都市の木造化と大型高層建築物に対応できる県産材を活用した新たな部材開発にも取り組むこととしております。

県産材を積極的にお使いいただくことが、循環型社会の形成や地域経済の活性化に繋がることをお客様へPRし、安定した木材・木製品の供給に努めて参りますので、一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

## 《も く じ》

とびら	
安定した木材・木製品の供給に務めます	
福島県木材協同組合連合会	
会長 鈴木 裕 一	1
令和4年4月開講林業アカデミーふくしま	
研修生募集！	2
県政コーナー	
林業従事者・木材事業者の方へ	
融資制度のご案内	3～4
「企業による森林づくり」の活動について	5

女性に向けたイベント「森の仕事場、木の仕事場～林業作業地と	
間伐材加工工場を巡る見学バスツアー～」を開催しました	6
里山素材を使った精油づくりから生まれる生活のうるおい、	
自然への驚きと新たな学び	7
普及指導員通信	8
福島県林業労働力確保支援センターだより	9
公社だより	10
木の文化を育む⑳	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば・お知らせコーナー	13

# 令和四年四月開講 林業アカデミーふくしま研修生募集！

## 林業振興課

県では、令和四年四月の林業アカ

デミーふくしま就業前長期研修の開  
講に向けて、研修生を募集します！

林業アカデミーふくしま就業前長  
期研修は、林業への就業を目指す方  
を対象とした一年間の研修講座で、  
令和四年四月より第一期生を迎え、  
新たにスタートします。

研修では林業の知識や技術を基礎  
から学べるとともに、先進技術や設  
備を活用した先端林業技術を学ぶこ

とが出来ます。

また、林業に必要なチェーンソー  
や林業機械の操作など各種資格も取  
得できます。

本県の森林・林業に興味のある方  
や働きたい方など、林業アカデミー  
ふくしままで学びませんか！

### 1 募集定員 十五名程度

2 申請資格 (次の条件を全て満たす者)  
① 県内の林業事業体等に就業を希  
望する者

② 高等学校を卒業または同等以上  
の学力を有する者

### 3 選考方法及び日程

① 選考方法 小論文と面接  
② 申請期間

推薦選考

令和三年九月十三日(月)～

十月十四日(木)

一般選考

前期試験

令和三年十一月十六日(火)～

十二月二日(木)

後期試験

令和四年一月十一日(火)～

一月二七日(木)

※前期試験で定員に達した場合  
は、後期試験は実施しません。

(3) 選考月日

推薦…令和三年十月二十九日(金)  
一般…

前期 令和三年十二月十四日(火)  
後期 令和四年二月八日(火)

### 4 受講手数料 年額二一八、八〇〇円

※教科書代・作業服・保険料等は  
別途実費負担

### 5 給付金制度 年間最大一四二万円

国の給付金制度を活用した研修  
生の支援

詳細は林業アカ

デミーふくしま  
ホームページに掲載  
している募集要  
項をご覧ください。



募集要項はこちらから

研修場所は郡山市にある県林業研

究センター敷地内です。

また、県産材を活用した新たな研  
修施設の整備を進めており、令和四  
年八月から利用する予定です。

その他、郡山市内の国有林や埴町  
有林の実習フィールドで実技研修を  
実施していきます。

研修修了後の就職先も企業や森林  
組合へのインターンシップ等を通じ  
て全力でバックアップします！



研修施設のイメージ

未来の<sup>そま</sup><sub>びと</sub>となる多くの皆さんの  
応募をお待ちしています！

県政コーナー

林業従事者・木材事業者の方へ融資制度のご案内  
〔林業・木材産業改善資金〕  
林業振興課

県では、林業従事者や木材事業者

が経営改善のために行う新たな事業部門の経営の開始、林産物の新たな生産・販売方式の導入等の先駆的取組などに対し、必要な資金を無利子で融資しています。

〔第三期〕十月五日まで

〔第四期〕一月五日まで

※資金の借入れには、林業・木材産業改善措置に関する計画書を県に提出し、認定を受けるなどの手続きが必要となります。

5 連帯保証人及び担保

貸付額に応じ、左記のとおり連帯保証人が必要となります。  
貸付金額五〇万円未満 一人以上  
貸付金額五〇万円以上五〇〇万円未満 二人以上  
貸付金額五〇〇万円以上 三人以上

1 貸付対象者

(1) 林業

森林所有者、林業労働従事者、森林組合、素材生産業者等  
木材産業

木材製造業、木材卸売業または木材市場業を営んでいる方

3 貸付限度額

(1) 林業の場合

個人一、五〇〇万円 会社三、〇〇〇万円 団体五、〇〇〇万円  
木材産業の場合

一億円（木材製造業、木材卸売業または木材市場業に係る事業を実施する場合）

2 貸付申請の受付

貸付の申請は第一期から第四期までの年四回受け付けます。

〔第一期〕五月六日まで（終了）

〔第二期〕八月五日まで

4 償還期間

十年以内（うち、据置期間三年以内）

※償還期間の特例あり

6 貸付対象となる事業

(1) 新たな林業部門の経営の開始

（例えば）

・森林施業の受委託を始めるために必要な委託料や、機械施設の導入  
・木炭の生産を始めるために必要

(2) 林産物の新たな生産方式の導入

（例えば）

・しいたけ栽培を始めるために必要な施設、資材等の導入  
・作業効率の向上等のための高性能林業機械の導入  
・木質バイオマス利用施設の導入  
・木材の生産性向上のための木材乾燥施設の導入  
・森林施業集約化のために必要な林業機械、運搬用トラック等の導入  
・林産物の新たな販売方式の導入

（例えば）

・厳密な品質管理が行えるグレーディングマシンの導入  
・原木市場と顧客間のネットワークを構築する販売管理システムの導入  
・原木の安定供給のために行う立木の取得や機械の導入  
・木材の付加価値を高めるために必要な森林認証の取得

(4) 新たな木材産業部門の経営の開始

（例えば）

・継手、仕口加工を行えるプレ

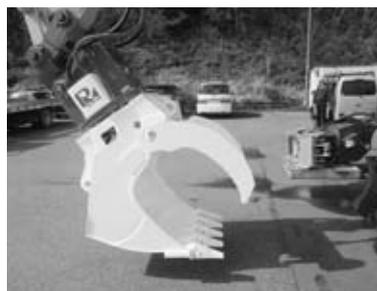
- カッター加工施設の導入
- ・未利用材の有効活用のための割り箸製造機械の導入
- ・森林整備により発生する小径木の有効活用のための木材チップ製造施設の導入
- (5) 林業労働に係る安全衛生施設の導入
  - 〈例えば〉
  - ・安全衛生上の性能が高い防振装置付きチェーンソーの導入
  - ・冬期間の振動障害防止※のため暖房装置付き人員輸送車の導入
  - ※振動障害防止には体を冷やさないことが重要であるため
- (6) 林業労働に従事する者の福利厚生施設の導入
  - 〈例えば〉
  - ・作業の快適性を向上させるためのシャワー施設の導入
- 7 問い合わせ先
 

融資をご希望の方は、住所・所在地を管轄する各農林事務所（別表）までご相談ください。

### 林業・木材産業改善資金の問い合わせ先

住所・所在地の区域	事務所名	電話番号
県北地区（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡・安達郡の町村）	県北農林事務所 森林林業部	024-521-2632
県中地区（郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡・石川郡・田村郡の町村）	県中農林事務所 森林林業部	024-935-1367
県南地区（白河市、西白河郡・東白川郡の町村）	県南農林事務所 森林林業部	0247-33-2123
会津地方（会津若松市、喜多方市、耶麻郡・河沼郡・大沼郡の町村）	会津農林事務所 森林林業部	0241-24-5735
南会津地方（南会津郡の町村）	南会津農林事務所 森林林業部	0241-62-5375
相馬地方（相馬市、南相馬市、相馬郡の町村）	相双農林事務所 森林林業部	0244-26-4305
双葉地方（双葉郡の町村）	相双農林事務所 富岡林業指導所	0240-23-6084
いわき地方（いわき市）	いわき農林事務所 森林林業部	0246-24-6193

林産物の新たな生産方式の導入  
（実績）平成30年度 いわき市森林組合  
フェラーバンチャ



林産物の新たな販売方式の導入  
（実績）平成28年度 田村森林組合  
2トントラック



表-1 企業等による森林づくり協定締結一覧 (R3.3.31現在)

No	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積(ha)
1	㈱東邦銀行	須賀川市 福島県	未来博記念公園	H21.6.5	H21.6.5~ H24.3.31	2.04
2	㈱東邦銀行	喜多方市 福島県	松山森林公園	H21.10.8	H21.10.8~ H24.3.31	1.14
3	㈱東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	H22.8.25	H22.8.25~ H27.3.31	4.20
4	(公社)福島県トラック協会	下郷町中山区 下郷町 福島県(農林水産部長)	南会津郡下郷町 中山区	H22.11.6	H22.11.6~ H31.3.31	1.20
5	イオンリテール(株) マックスバリュ-南東北株 イオンサービスセンター(株)	(公)ふくしまフォレスト- エコ・ライフ財団 福島県	ふくしま県民の森	H23.1.31	H23.1.31~ H28.1.31	8.16
6	㈱ディーエイチシー	猪苗代町 福島県	びわ沢原森林公園	H24.9.7	H24.9.7~ H26.1.28	7.60
7	㈱東邦銀行	北塩原村 福島県	北塩原村大塚地区	H24.9.7	H24.9.7~ H27.3.31	2.06
8	㈱みずほフィナンシャル グループ	下大越共有山林組合 いわき市 福島県	いわき市平下大越 地区	H25.4.24 H31.3.29	H25.4.24~ R4.3.31	2.27
9	陸奥テックコンサル タント(株)	南会津町 福島県(南会津農 林事務所)	南会津町八総地区	H26.5.1	H26.5.1~ H29.3.31	3.00
10	楽天(株)	森林所有者代表 相馬市 福島県	相馬市山上地区	H26.12.26	H26.12.26~ H29.3.31	7.80
11	㈱東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	H27.9.25	H27.9.25~ H30.3.31	5.03
12	㈱東邦銀行	いわき市 福島県	いわき市常盤湯 本町日渡地区	H27.10.1	H27.10.1~ H29.3.31	0.78
13	(公)イオン環境財団	いわき市 福島県	いわき市錦町須 賀地区	H29.9.11	H29.9.11~ R2.3.31	1.08
14	日本精工(株)	棚倉町 福島県	棚倉町大字関口 地区	H31.2.4	H31.2.4~ R6.3.31	6.35
15	㈱エイチワン	福島県北森林組合 福島県	福島市佐原地区	R1.10.28	R1.10.28~ R6.3.31	1.05
合計 (13者・15協定)						53.76

表-2 NPO・企業等による海岸防災林の植樹活動協定締結一覧 (R3.3.31現在)

No	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積(ha)
1	福島県森林土木建 設業協会	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H27.3.25	H27.3.25~ H30.3.31	0.13
2	イオン(株)	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H27.3.25	H27.3.25~ H30.3.31	0.12
3	相馬市総合建設業 組合	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H27.3.25	H27.3.25~ H30.3.31	0.08
4	緑地創造研究会青木ブ ロジェクト共同企業体 会(公財)ササキ環境財団	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H27.3.25	H27.3.25~ H30.3.31	0.13
5	ふるさと再生、菜 の花、黒松植樹プ ロジェクト	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H27.3.25	H27.3.25~ H30.3.31	0.08
6	東北電力(株)	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H28.3.30	H28.3.30~ H31.3.31	0.42
7	NPO法人日本パ ーク堆肥協会	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H28.3.30	H28.3.30~ R3.3.31	0.12
8	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	H28.5.14	H28.5.14~ R3.3.31	0.32
9	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	H28.10.14	H28.10.14~ R3.3.31	0.51
10	東北電力(株)	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H29.4.4	H29.4.4~ R2.3.31	0.20
11	(公社)福島県トラ ック協会	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H29.4.4 R2.1.21	H29.4.4~ R8.3.31	0.20
12	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	H29.9.20	H29.9.20~ R4.3.31	1.00
13	東北電力(株)	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	H30.2.13	H30.2.13~ R3.3.31	0.50
14	福島キヤノン(株)	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	H30.9.28 R2.12.22	H30.9.28~ R6.3.31	0.53
15	関場建設(株)	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市原町区)	H30.10.10	H30.10.10~ R3.3.31	0.08
16	全富士通労働組合 連合会	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	H30.10.16	H30.10.16~ R7.3.31	0.53
17	(公社)福島県トラ ック協会	相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(相 馬市磯部字大洲)	R1.10.25	R1.10.25~ R8.3.31	0.40
18	㈱東邦銀行	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	R2.6.19	R2.6.19~ R6.3.31	0.10
19	A L S O K 福島(株)	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	R2.6.19	R2.6.19~ R6.3.31	0.20
20	㈱メイワ	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	R2.10.20	R2.10.20~ R5.3.31	0.08
21	保土谷化学工業(株)	南相馬市 福島県(公益財団法人 福島県建設業協会)	海岸防災林(南 相馬市鹿島地区)	R3.3.25	R3.3.25~ R8.3.31	0.75
合計 (15者・21協定)						6.48

表-3 令和2年度企業等による森林づくり活動状況 (R3.3.31現在)

活動場所	実施者	月日	面積(ha)
1 棚倉町関口地区	日本精工(株)	11月15日	1.67
2 いわき市平下大越地区	㈱みずほフィナンシャルグループ	8月24日~9月4日	1.40
3 相馬市磯部大洲地内海岸防災林	東北電力(株)	9月23日~28日	0.50
4 相馬市磯部大洲地内海岸防災林	(公社)福島県トラック協会	10月6日、9日、19日	0.12
5 相馬市磯部大洲地内海岸防災林	NPO法人日本パーク堆肥協会	11月16日	0.11
6 南相馬市鹿島南海老地内海岸防災林	福島キヤノン(株)	10月7日	0.52
7 南相馬市鹿島南海老地内海岸防災林	㈱メイワ	10月22日、23日	0.08
8 南相馬市原町区幸地内海岸防災林	関場建設(株)	6月~10月	0.08
合 計			4.48

当協会は、県内の森林づくりの活  
動を一層進めるため、福島県の「み  
んなで支えよう森森(もりもり)元  
気事業」に取り組み、企業やNPO  
等が社会貢献活動として行う植樹活  
動等をサポートしております。  
この森林づくり活動に取り組みに  
あたっては、企業等の皆様は、森林  
所有者などと森林づくり協定を結  
び、取り組むこととしております。  
森林づくり活動に関する協定のう  
ち、平成二二年度にスタートしまし

た「企業等による森林づくり」の協  
定は、「表-1」のとおり現在まで  
に十五件、五三・七六の森林につ  
いて結ばれております。  
また、平成二六年度からは、東日  
本大震災により大きな被害を受けた  
海岸防災林において、「表-2」の  
とおり、令和二二年度に新たに五件、  
一・六六の協定が結ばれ、計二二  
件、六・四八の協定となりました。皆  
様の活動により、予定しました新規植  
栽の区域全てで協定を締結すること

ができました。  
令和二年度の活動は、「表-3」  
のとおり八件の企業やNPOにより  
四・四八の森林づくり活動が行わ  
れました。主な活動内容は、植栽地  
の補植や下草刈り、海岸防災林での  
クロマツ植栽や下草刈り作業など  
なっております。  
このような企業やNPOの皆様  
により森林づくり活動に感謝いた  
しますとともに、今後とも「企業等  
による森林づくり」の活動をサポー  
トしてまいります。  
現在、新たに協定を締結し、森林  
づくり活動ができる森林区域等を募  
集しておりますので、市町村や森林  
所有者などの皆様方から情報提供や  
ご相談をお待ちしております。

# 「企業による森林づくり」の活動について

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会



海岸防災林でのクロマツの植栽



保育作業の様子

# 女性に向けたイベント「森の仕事場、木の仕事場」林業作業地と 間伐材加工工場を巡る見学バスツアー」を開催しました

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

令和三年六月二十六日(土曜日)に、女性に向けたイベント「森の仕事場、木の仕事場」林業作業地と間伐材加工工場を巡る見学バスツアー」を開催しました。これは、当協会が実施する森林・林業担い手対策事業の一つとして、森林や林業に興味関心のある女性に向けてイベント等を開催するもので、おおよそ二回ほどのペースで行っております。

今回は、林業女子会@福島との共催として、間伐材を活用し様々な木製品を製作している「磐城高箸」と、古くから林業が盛んな古殿町で三代続く林家「水野林業」の作業地を見学するバスツアーを行いました。平成二八年度から始めたイベントも今回で七回目を迎えました。実際の林業作業地を見学するのは初めての機会です。

はじめに訪れたいわき市田人町の磐城高箸では、高橋社長から、箸づくりの工程を作業の手順に沿ってご説明いただきました。手作りの乾燥室や、廃材を燃料に使うボイラー、

おが粉の活用や箸の端材の活用など、集めた材を捨てることなく活用するよう工夫された工場の仕組みに感嘆しつつ、アイデアに満ちた商品やその開発に至るまでの苦労や工夫等についてもお話を伺いました。また、廃校再生プロジェクトにより新たな工場等として活用している南大平分校内もご案内いただきました。

同じ田人町内にある古民家カフェ hitotajiri (ヒトタビ) にて、地元産の新鮮な野菜をふんだんに使った美味しいランチプレートをいただいたあと、古殿町に移動し、水野林業の作業地を見学しました。はじめに、植栽後五年目を迎えた山林を見学、その場で造林や育林作業について説明を受けました。また、当日ご参加いただいた古殿町の桑原副町長から、古殿町の特徴や魅力、特産品や観光等についてお話を伺いました。

その後、バスで五分ほど進むと、手入れが行き届いた美しい山林に到着。六〇年生ほどの杉の木が立ち並ぶ林内は針葉樹特有の心地よい香り

が漂っています。ここで水野さんから、林内での様々な作業や、林業を広めるために取り組んでいる試みなどについてお話を伺ったあと、水野林業の若いスタッフによるチェーンソーでの伐木作業と、グラップルを使った造材作業を見学しました。

何とかな候も持ちこたえ、多くの皆様のご協力のもと大変充実した時間を過ごすことができました。コロナ禍ということもあり、現地での体験できるイベントは非常に少なくなっておりますが、だからこそ、その場所に立ち五感で触れることの大切さを実感した時間でもありました。参加された方々が、これからふと山に目を向けた時、その奥で日々木と向き合う林業マンや林業女子をより身近に感じていただけたら嬉しく思います。



教室を活用した研修室での質疑応答



植栽された山林の前に水野氏、桑原氏から説明を聞く



作業を熱心に見つめる参加者



磐城高箸の見学



田人産野菜たっぷりのランチプレート



チェーンソーと機械を使った造材作業等を見学

# 里山素材を使った精油づくりから生まれる 生活のうるおい、自然への驚きと新たな学び

## ―令和二年度フォレスト助成金事業の報告―

特定非営利活動法人グリーンエネルギーユーザーズ理事長 林 薫 平



ヒノキ・スギ・クロモジの精油の香りを嗅ぎ比べると、子どもたちには新鮮な驚きや発見がある



琥珀色に光るヒノキ精油。無香料の保湿クリームや木工用オイルに混ぜると、ヒノキ香が生かせる



黄河社製の精油抽出機とMOKI製作所の防災ストープを組み合わせた、熱源自給型の蒸留システム

当団体（NPOグリーンエネルギーユーザーズ）では、令和二年度のフォレスト助成金事業に採択していただき、「里山素材を使った季節の精油とさわやか消毒アルコール・ハンドソープの製作体験」を実施した。精油（またはエッセンシャル・オイル）とは、植物の体に（草本・木本の種類を問わず、花茎・子実の部位によらず）あまねく含有される、芳香を放つ様々な揮発性の成分を抽出したものである。

古くから、蒸留法等によって植物の芳香成分を抽出する方法が用いられ、とくにラベンダー等のハーブ類の精油は、甘くかぐわしい香りをもつことから、広く利用されてきた。そのため、精油といえはラベンダーなどのハーブ類というイメージが強いかもしれない。しかし、自然界の森林・里山や草原・花畑などに存在する多様な植物は、それぞれ固有の芳香成分を体内に合成して周囲に放っており、それらが合わさって、季節ごとの自然の香りを構成している。このような自然

然の観察の一環として精油づくりを試みることは少ない。さらに、昨今は、新型コロナウイルス感染症の対策で、自然体験の機会が減り、屋内で滞在する時間が増え、また、繰り返しされるアルコール消毒で手も肌も乾いてしまっているが、当事業は、ここに目を付け、精油づくり事業により、殺伐としがちな生活や学習の場面に新たなやさしいうるおいを与え、さらに自然への驚きや学びをもたらそうと考え計画した。

まず、福岡県の「黄河」社製のステンレス製の三六リットの圧力鍋とガラス器具からなる蒸留機を導入した。下部から高熱で湯を沸かし、鍋の内部の植物素材を高高温高圧の水蒸気にさらし、含有する揮発性成分を抽出し、冷却して精油を分離する仕組みである。子どもたちの体験として、ヒノキのキャンナくずや、スギ・クロモジの枝葉の現物を見て触ってにおいがかがせた上で、抽出したそれぞれの精油と比べさせてみた。子どもたちは一様に、自然の野山のかぐわしい香りを構成している個々の強い香りに驚いていた。

今後、福島県内の様々な自然の素材を用いて、出前の精油づくり事業を各地で開催して、子どもたちや地域の皆さんと一緒に保湿クリームや塗料づくりをして、生活にうるおいをもたらす、新たな自然学習の機会にしていきたい。

# 南会津地域のカシノナガキクイムシ 被害対策について

南会津農林事務所

林業普及指導員 東 村 真太郎

## 1 はじめに

南会津地域におけるカシノナガキクイムシ被害は、平成21年に初めて確認されてから被害の一進一退が続いていましたが、昨年は梅雨期の長雨とその後の高温少雨等の影響により一挙に被害が拡大し、令和2年度の被害量が前年度比377%の8,401㎡と過去最高になりました。特に南会津町では平成28年以来4年ぶりに、只見町と接する旧南郷村地域で被害が確認されました。

このため、これらの被害拡大の状況を踏まえ、町や森林組合と連携しながら、効果的な防除対策となるよう取り組んだ内容を紹介します。

## 2 取組内容

### (1) 関係者との情報共有

町村担当者とカシノナガキクイムシの被害状況や防除対策の方法を共有するため、事務所主催による森林病虫害等防除事業担当者会議を令和2年10月26日に開催し、被害先端地域での対策や被害発生箇所における保全すべき森林を考慮して防除対策に取り組むこととしました。また、令和2年11月には、民国連携会議において国有林の取組を確認しました。

### (2) 南会津町の取組

被害の実態を把握するため、令和2年8月25日に南会津町と合同で旧南郷村地域において現地調査を行い、単木的な被害が確認されたので、更なる被害拡大を防止するため、被害木からのカシノナガキクイムシの脱出を防止する対策を取ることとしました。具体的には、林道山神界線沿線で被害木の集積が可能な箇所は伐倒及びくん蒸処理、ホテル南郷北側及び片貝地区東側で急傾斜地のため集積が困難な箇所においては粘着面を内側にしたシートによる被害木への被覆としました。なお、粘着シートと被害木が密着していると、カシノナガキクイムシがシートを突き破ることがありますので、標準仕様で被害木とシートの間に金網を巻きますが、更に適切な隙間を確保するため、受注者の南会津森林組合は、シートが巻いてあった芯をスパーサーとして活用していました。この芯はシートを撤去するときに併せて処分します。

被覆作業はカシノナガキクイムシが脱出する前の6月上旬に終了しており、今後、捕捉効果が落ちる8～9月中旬以降に粘着シートを撤去しますので、どの程度カシノナガキクイムシを捕捉することができたか検証を行いたいと考えています。

### (3) 只見町の取組

被害が早くから確認されていた只見町では、これまでも奥会津ただみの森キャンプ場周辺での樹冠注入と町内一円でのおとり丸太による誘引捕殺に取り組んでおり、また山形大学の齋藤昭一客員教授を招いて研修会を行ってきましたが、今年度はおとり丸太の設置箇所を3箇所から4箇所に増やして拡大防止を図っています。

### (4) 下郷町の取組

下郷町では、県立自然公園内の塔のへつり周辺で樹冠注入を行ってきましたが、町内に被害が拡大したことから、只見町の研修会に参加して、今年度から新たに町内一円3箇所で誘引捕殺を実施しています。



森林病虫害等防除事業担当者会議 開催状況



南会津町における粘着シート設置状況



設置完了状況

## 3 おわりに

カシノナガキクイムシ被害は、穿孔されても枯損しない木があるなど被害の全容把握が困難で、完全防除が難しい状況にあります。このため、今後の森林整備の方向として、被害が入る前に更新伐による木材利活用とナラ林の若返りを図ることや、ブナ等の他の有用広葉樹への樹種転換等に取り組むことが求められています。これからも防除に取り組む地域の選定や効果的な防除対策の検討等について町村や地域住民等と連携し、メリハリの効いた被害対策に取り組んでいきたいと考えています。

福島県林業労働力確保支援センターだより

# 林業就業者育成の

# 取組について

## ◎はじめに

福島県林業労働力確保支援センター（以下「支援センター」）では、事業者が林業の持続的かつ健全な発展を担う上で不可欠な、雇用管理改善や就業者確保・育成等の取組を各種事業を通して支援しています。

ここでは、今年度これまでに取り組んだ研修について紹介します。  
なお、新型コロナウイルス感染症防止対策として、検温・体調確認・マスク着用・消毒・換気・人と人の距離の確保等を徹底して実施しています。

## ◎「緑の雇用」現場技能者育成推進事業（フォレストワーカー研修）

認定林業事業者の新規就業者を対象とし、三年間で体系的に技能と知識の習得が得られるよう全国統一のカリキュラムと研修テキストのもと、集合研修と実地（OJT）研修を実施中です。

今年度の研修生は、一年生が二三名、二年生が二三名、三年生が十五名の計六一名となっていて、前年度（六〇名）から一名の増となっています。

ます。

### ① 集合研修

集合研修は、各年の研修生が一箇所に集合し座学や実習、資格取得を行うものです。

今年度のカリキュラムは、一年生が二八日間、二年生が二三日間、三年生が二〇日間で、全体的な日程は、六月一日から始まり、七月七日に終了する予定です。



造林作業の実習状況

日までに終了した研修は、一年生では、林業の社会的責任と関係者との協働・現場作業の安全力・メンテナンクス・健康管理・普通救命救急の学科、造林作業と育林作業の実習、刈払機とチェーンソーの特別教育です。

二年生では、現場作業の改善力・メンテナンクス・森林整備での労働災害の学科、造林作業と育林作業の実習です。

三年生では、現場作業の総合力・森林施業の体系・素材生産での労働災害の学科です。

### ② 実地（OJT）研修

事業者が行う研修（最大八ヶ月間）で、六月一日から開始しています。

県内では、三三二の認定事業者で行われています。

## ◎現場技能者キャリアアップ対策（フォレストリーダー研修）

認定林業事業者の就業経験五年以上の者を対象とし、効率的な現場作業を主導することのできる現場管理者を育成するための研修を実施中です。

今年度の研修生は二四名となっていて、前年度（十九名）から五名の増となっています。

カリキュラムは、十六日間の座学と実習で、全体的な日程は、七月一日から始まり、八月三十一日に終了する予定です。

七月十五日までに終了した研修は、能力向上指導法・安全衛生管理の学科、造林作業の作業指揮者安全教育・地山掘削等作業主任者技能講習です。

## ◎林業アカデミーふくしま短期研修講座「伐木造材技術」

地域において安全な伐木造材作業等を指導できる者を養成するため、伐木造材作業に関する技術、健康障害防止や安全作業等に必要知識等

の向上を目的に、六月十四日から十七日の四日間で実施しました。受講者は五名で、講師の濃密な指導の下で熱心に研修に励みまし



小田桐久一郎講師の指導状況

## ◎林業女子会への支援

「森の仕事場、木の仕事場」をテーマに、古殿町といわき市田人町の林業作業地と間伐材加工工場の見学ツアーを六月二六日に実施しました。参加者は十五名で、普段触れる機会の少ない名人の技に魅せられ感動していました。

## ◎終わりに

今後とも次のとおり様々な事業を予定しており、逐次広報を行いますので、是非ご活用をお願いします。

① 林業アカデミーふくしま短期研修講座「路網整備と作業システム（基礎）・（実践）」

路網整備と作業システムの構築に関する研修で、座学二日間の基礎講座と現地実習五日間の実践講座に分かれています。

② 森林・林業担い手育成事業

高校生等の職場体験、セミナーの開催、林業女子会への支援等を行います。

公社だより

第8回  
定時社員総会を開催  
(6月16日)



去る六月十六日(水)福島市の「キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)」において、ぶくしま緑の森づくり公社の第八回定時社員総会を開催し、令和二年度の事業報告及び決算について議決いただくとともに、令和三年度事業計画などについて報告しました。

今年度については、昨年度と同様に、ソーシャルディスタンスの確保やマスク着用の徹底など、新型コロナウイルス感染症対策を実施して開催しました。

はじめに、井出孝利理事長より「東日本大震災と原発事故から十年余が経過し、この間、「ぶくしま森林再生事業」が展開されるなど、森林の再生に向けた取り組みは着実に前進しています。一方で、未だ多くの森林が放射性物質の影響を受けているほか、近年は台風や地震等の自然災害が頻発するなど、森林・林業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。また、国内外に

おいて地球温暖化対策を求める声

広がっており、温室効果ガスの削減に向けた取組の重要性が増す中、森林の持つ二酸化炭素吸収源としての役割が一層注目されています。このため、当公社としては、関係機関と密接に連携するとともに、分収林事業を継続していくことで、これまでの山村地域の振興に加え、森林が持つ多面的機能の維持増進に貢献する森林整備を推進しているところであります。今年度は、五カ年にわたる経営改善計画「第二次緑の森づくり新生プラン」の折り返しとなる節目の年に当たります。計画の柱である「効果的な森林整備の推進」、「市町村との連携による新たな森林管理システムへの挑戦」、そして、「ICT技術などの新たな施業技術の活用」について、より具体的な成果を挙げていくためにも、皆様には、引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。」と挨拶がありました。次に、猪苗代町の前後公町長を議

長に選出して議事に入り、令和二年度の事業報告及び決算の承認、令和三年度の賦課金の徴収、役員選任など合計四議案についての審議が行われ、原案どおり承認されました。令和二年度の主な事業実績については、以下のとおりです。

1 効率的な森林整備と森林再生への取組

有利な補助事業の最大活用や利用間伐を中心とした施業の重点化に努めました。

また、ぶくしま森林再生事業については、公社直営事業では、三市町村で継続実施したほか、社員四市町村で公社有林の森林整備を行っていただきました。

2 木材生産販売対策の推進  
搬出コスト低減のための作業路の整備や、木材市場での委託販売や単価契約による販売など、より有利な木材販売に積極的に取り組みました。

3 分収造林契約変更の推進  
引き続き二名の専任担当者を中心に契約者との交渉を実施しました。

その結果、分収割合の変更は二五件、契約期間の延長は三〇件の同意が得られました。

4 普及・啓発活動の展開

新型コロナウイルス感染症を考慮し、公社主催の各種研修会は中止としましたが、林業関係団体等との連携を図りながら、施業技術等の習得や向上等に取組みました。

5 市町村との連携による新たな森林管理システムへの挑戦  
社員市町村が、ぶくしま森林再生事業の計画を策定するに当たって助言を行ったほか、新たな森林管理システムについて、社員市町村へのアンケート調査を実施しました。

6 ICT技術、新たな施業技術の活用

計画的な森林整備や路網整備などに必要な航空レーザ計測データ等のICT技術の導入に向け、森林GISの更新など公社造林地の情報の精度向上に取り組みました。

令和三年度は、保育事業等、四二九畝の森林の整備や二四、三三〇畝の作業路開設・補修など、約二億六、四六四万円の事業を実施する予定です。引き続き関係団体等との連携のもと健全な森づくりに努めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

※当公社の概要、第二次新生プラン等については、当公社HPで公表しております。

(URL: <http://www.fuku-rim.jp>)



井出理事長あいさつ

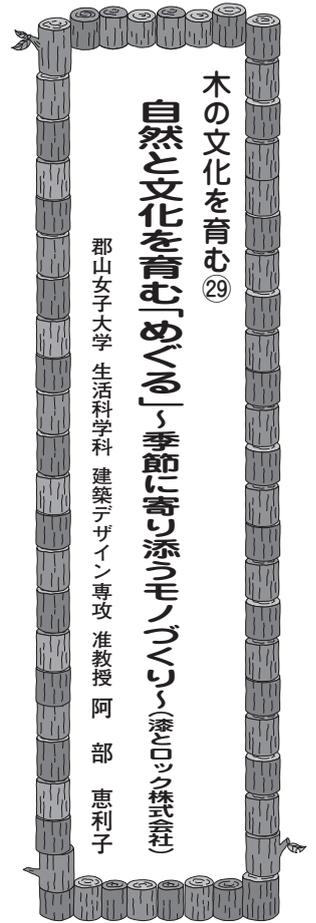


公社造林地の施業状況(会津美里町)

木の文化を育む②

自然と文化を育む「めぐる」季節に漆を塗りつづける会津漆器株式会社

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子



○はじめに

大量生産、大量消費の経済構造のもと、日本人の生活は風土に関係なく均質化してしまつたように感じます。規格化された低価格の生活用品を大量に供給し消費する「使い捨て文化」は、いつしか修理しながら長く大切に愛用するという、モノに対する愛着を希薄にしてしまつたのではないのでしょうか。

自然と共生する日本古来の循環型のモノづくりは、世代を超えて「長く大切に愛用したくなる、モノへの愛着」を育みます。

○会津漆器「めぐる」

会津漆器「めぐる」は心地よい肌触りや口当たり、そして抱き上げたくなる優しいかたちを追求した漆器ブランドです。素材のみならず、作り手も使い手も、世代を超えて良い循環の中で育まれていくことを願って命名されました。

漆とロック株式会社（会津若松市）代表 貝沼航さんは、漆器の作

り手と使い手のつなぎ役として、漆が持つ魅力を伝えようと、暮らしに活きるオリジナルブランドを立ち上げました。日本の木と漆の文化、そして産産を繋ぐサイクルをつくり、季節のサイクルに寄り添うモノづくりを展開しています。

○十月十日のシステム

貝沼さんは漆器の適量生産を目指して、生産過程の期間をマタニティー期間に擬えた「十月十日（とつきとおか）」のシステムを取り入れました。このシステムは、年に一度、三カ月間の受注期間（毎年十二月十五日～三月十五日）を設け、季節のサイクルに合わせて漆器を生産

します。夏から秋には漆塗りや蒔絵を施し、冬に販売して正月を迎える。こうした日本の四季のリズムや気候に合った製作サイクルは、木や漆などの自然素材を扱うモノづくりに適しています。また、数年前の材料を確保する仕組みとして、ペイフワードの循環をスタートさせる

ことができ、購入者にとつても人や地域社会、そして地球環境に配慮した消費に繋がります。

漆器が購入者の手元に届くまでのマタニティー期間には、購入者へメールや葉書で生産過程の様子を伝え、おおよそ十月十日で手元に届けられます。

「漆器の適量生産を購入者が皆で共同購入し支える、というこのシステムは、伝統工芸業界に内在する、材料の確保や漆の育成、商品原価が高く回収までの期間が長い、などの課題解決に繋がるモデルとなると考えています。」と貝沼さん。

○触感をデザインに

会津漆器「めぐる」のデザインには、商品開発のパートナーとして、三人の全員の女性のアドバイスが活かされています。触覚に対する認識と感性が優れているパートナーのアドバイスを参

考に、職人による試作と改良が重ねられた「めぐる」は、口当たりが心地よく、滑らかな手触りと使いやす



会津漆器「めぐる」  
収納時には入れ子になります。美しく重なるデザインは、禅の修行に用いられる「応量器（おうりょうき）」にヒントを得ています。



「テマヒマうつわ旅」  
漆の木に傷を付けて、漆の液を一滴一滴集める漆掻きの様子。

魅力です。

○テマヒマうつわ旅

漆とロック株式会社は、会津手しごと職人会とともに、作り手の日常を巡る、漆の産地文化ツアー「テマヒマうつわ旅」を主催し、会津漆器の製作背景や魅力を伝えていきます。

四百年の伝統を誇る会津漆器の工房を中心に、特に丁寧な手しごとや伝統を継承している工房へ、専門ガイドが案内します。漆の木の植栽地見学もできることから、漆器が作られるまでのテマヒマをより深く知ることができます。

○まとめ

モノづくりの背景を知ること、修理しながら長く大切に愛用したくなる、モノへの愛着」が育まれます。子や孫の代までその良さを伝え、自然と文化を育む一員になつてみませんか。

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(2021年5月15日現在)

(単位: m当り千円)

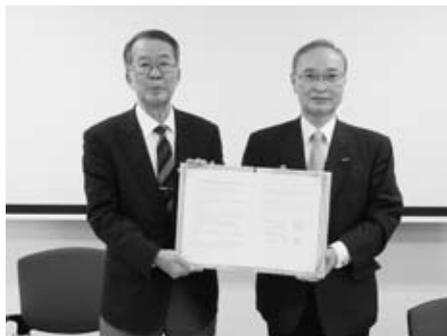
区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	並	スギ	10 (9~10)	1	(0~0)		10 (10~10)	0	10 (9~10)	1	
		10~14	4.00	並	スギ	15 (15~15)	1	(0~0)		15 (13~16)	2	15 (13~16)	2
	中	14~22	3.00	並	スギ	17 (14~20)	4	13 (13~13)	△1	20 (17~23)	5	17 (13~23)	3
				並	ヒノキ	20 (18~22)	2	(0~0)		24 (22~25)	7	22 (18~25)	5
		6.00	並	スギ	18 (16~22)	2	10 (10~10)	0	22 (20~23)	4	18 (10~23)	3	
			並	ヒノキ	27 (25~28)	3	(0~0)		26 (25~27)	3	26 (25~28)	3	
		20~28	3.65	並	スギ	14 (13~15)	1	12 (10~14)	0	15 (14~16)	2	14 (10~16)	1
			4.00	並	スギ	14 (13~15)	1	11 (10~12)	1	14 (14~14)	1	13 (10~15)	1
	並		アカマツ	11 (8~13)	1	(0~0)		10 (9~12)	1	11 (8~13)	1		
	外	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		32 (32~32)	0	32 (32~32)	0
			並	米マツ	(0~0)		33 (33~33)	0	32 (32~32)	2	33 (32~33)	1	
		28以下	3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	0	30 (30~30)	0
4.00			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	0	30 (30~30)	0	
	並			カラマツ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	0	30 (30~30)	0	
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	
	並			広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	0	

四月の原木市場への入荷量は、前月比三割減(前年比二割増)の二六、九九七立方メートルとなっている。  
 販売量は、前月比三割減(前年比一割増)の二七、一一四立方メートルとなっている。  
 五月の価格は強調となっている。

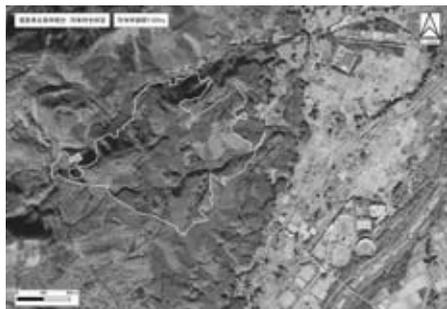
区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	0 (0~0)	0	7 (6~8)	0
	13~14		並	カラマツ	0 (0~0)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	14 (12~15)	14	9 (8~10)	△1

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

学術的観点からの助言指導や森林整備の現場見学など、相互に連携及び協力を図るものとなっています。



生源寺学類長(左)と菅野組合長



協定締結演習林(福島市佐原地内)

令和三年六月二十八日(月)、福島大学農学群食農学類と福島県北森林組合が、森林・林業分野における調査研究及び人材の育成に関する協定を締結しました。  
 協定締結式は同日、福島大学で行われ、県北農林事務所からは宮田博文森林林業部長が同席し、生源寺眞一食農学類長と菅野厚代表理事組合長が協定書に署名を行いました。  
 協定の内容は、福島市佐原地内に所在する福島県北森林組合の所有林一三〇ヘクタールを、福島大学農学群食農学類の実習フィールドとして提供し、実地教育や調査研究に活用することや、

現地は、あづま球場から西に二キロの福島市佐原地内に位置し、スギ、アカマツ、ヒノキ、広葉樹等の多様な樹種があり、測量や伐倒など様々な実習が可能です。  
 また林業専用道が開設されており、大型車も通行可能で大学からのアクセスも良く、早速七月末から同学類の二年生が実習をスタートする予定となっています。  
 今後、森林・林業分野における人材の育成などがさらに進むものと期待されます。



### 福島大学と福島県北森林組合が協定締結

福島県北農林事務所 藤原浩幸

はなしの  
ひろば

追憶

八月七日は立秋。どこかの空で夏の風と秋の風が出会って、季節の交替をあいさつしている。そんな空を昔の人は「ゆきあいの空」と表現した。季節を先どりし、表現してきた、先人たちの言葉の感性に一瞬で引つ張られる。夏風と秋風だからこそ成り立つ空の風情だ。

だが、今から七六年前の八月六日には広島に、そして、八月九日には長崎に原爆が投下された。その事実を思う時、痛みの伴う複雑な思いで「ゆきあいの空」を見上げてしまう。

広島への原爆投下後に放射能を帯び、すすなどを含んで降ってきた雨は黒く「黒い雨」と呼ばれた。今年七月十四日におこなわれた「黒い雨訴訟」では、二審の広島高裁の判決も注目された。

二〇一六年には、オバマ元米大統領が広島平和記念資料館を訪れ、和紙で折った二羽の鶴を贈った。原爆を投下した国と被爆国のそれぞれの人の手によって折られた鶴が、今、広島平和記念資料館に同じくおさまられている…。

八月十五日は、七六年目の「終戦の日」そして「盂蘭盆会」。昔は、死んだ人が通れるようにと草を刈って盆路を作り、帰る家のない無縁仏のために村のつじに特別な盆棚を作る風習があったという。もう、ツクツクボウシの鳴き声が聞こえてくる頃になる。亡くなった人たちの霊を迎え、供え物をして、心から冥福を祈る。こんな風に過去のように流れていってしまふものを捉え、心に留めて思いを馳せる。八月は、追憶の月だ。(都)

表紙の写真



「少年の夏」

第35回ふくしま緑の写真コンクール 銀賞  
受賞者 熊谷理絵さん(いわき市)  
撮影場所：いわき市

編集

発行人

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)  
飯沼隆  
陽光社印刷株式会社  
(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

第6回福島県きのご料理コンクール 作品募集

きのごに対する正しい知識とその利活用の普及に向けて、県産きのごを用いたオリジナルのきのご料理を募集しています。ご家庭での調理の機会も増えている折、県民の皆様からの多数のご応募をお待ちしています。

1. 応募資格

- 16歳以上または高校生以上で、県内在住の方
- 応募は、個人(グループの場合は代表者)に限ることとし、一人1作品

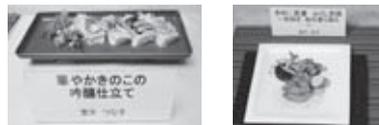
2. 応募条件

- きのごを用いた未発表の料理
- 福島県内で生産されたきのごを使用  
※県産きのごの販売先：JA直売所、道の駅等
- 材料費は、4人分で2,000円以内
- 調理時間は1時間以内  
※乾燥きのご等をもどす時間を除く。
- 本審査に参加できること

3. 日程

- 応募締切 令和3年9月30日(木) (必着)
- 本審査(調理審査)  
期日 令和3年11月23日(火・祝日)

○詳細は当協会のホームページをご確認ください。応募の際は、応募用紙をダウンロードしてご使用ください。



第5回県知事賞受賞作品

令和3年度 福島県きのごセミナー開催!

令和3年度福島県きのごセミナーの参加者を募集します。

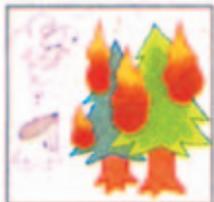
詳細はホームページに記載の開催要領、チラシをご覧ください。これから「きのご栽培」に新たに取

り組みたいなど、初心者向けのセミナーです。是非、ご応募下さい。

当協会ホームページ (<https://www.fukurin-net.jp/>)

# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



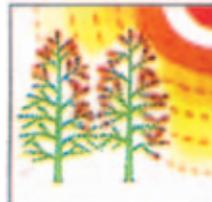
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)
- または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ  
グラップルプロセッサ

# GP-35B

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



### 傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8 コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest



**イワフジ工業株式会社**

<http://www.iwafuji.co.jp/>



- ( 南東北支店 ) 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
- ( 本社・工場 ) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
- ( 支 店 ) 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

# 緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
スミパインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマNCS

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

## ハチ退治

ハチノックL (巣処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)

## 新商品

猪レスSTOPテープ

ヒルノックWスプレー

ヒルノックW



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野 1-19-10 お問い合わせ TEL. 03(6740)7777 平日 9:00~17:00 (土日・祝日は休み)



## 人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

# (有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1